

高温耐性中晩生水稲品種「むさしの26号」

近年、夏期の異常高温の影響などによる水稲の収量・品質の低下が問題となっており、高温耐性品種の育成が望まれていました。

そこで、中晩生で高温耐性があり、従来品種に比べ1割程度多収の「むさしの26号」を育成しました。

特性概要（「彩のみのり」との比較）

- (1) 出穂期および成熟期は同程度の中晩生種。
- (2) 稈長は10 cm、穂長は1 cm 長く、穂数は10%少ない「偏穂重型」。
- (3) 千粒重は22g程度で大粒、収量は「彩のみのり」より10%多収。
- (4) 高温耐性は「やや強～強」で高温条件でも品質の低下が小さい。
- (5) 耐倒伏性は「中」で「彩のみのり」より倒伏しやすい。
- (6) 縞葉枯病抵抗性 (*Stvb-i*)、穂いもち圃場抵抗性 (*Pbi*) を持つ。
- (7) 食味は玄米タンパク質含量が低く、味度値が高く、優れる。

